

相談  
受付中

# 企業勤労者の 「働く」が変わる

理学療法士と一緒に、  
作業動作・環境等を見直してみませんか？



## 理学療法士の強み/メリット

理学療法士とは 病気やケガ・事故などで身体が不自由になった人に対し、社会生活を送れるように回復に必要な治療を行う“動作の専門家”

職場全体の作業環境、作業姿勢の観察から筋骨格系の負担を評価し、かつ改善することができます。  
疾病に関する知識を理解した上で、身体機能を評価・改善することができます。  
運動療法を用いて、心身ともに健康な体作り個々に提案できます。  
安全な移乗動作／介護動作の指導ができます。

愛知県理学療法士会  
までご相談ください。  
TEL&FAX:052-972-6295

ホームページはこちら  
<https://www.aichi-pt.jp/>

メールはこちら  
[info@aichi-pt.jp](mailto:info@aichi-pt.jp)

主催：公益社団法人 愛知県理学療法士会 産業保健事業部  
協力：日本産業理学療法研究会



いつまでも自分らしく暮らすを応援

# ぴたつ!と あいち

2026  
第23号

愛知県理学療法士会広報誌



## 特集

# 2026アジア・アジアパラ競技大会と 理学療法士の関わり



# Top Message

代表理事メッセージ

公益社団法人 愛知県理学療法士会  
代表理事 三宅 わか子

## 馬九行久(うまいく)年に願う

平素は愛知県理学療法士会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

我が国の人口動態をみますと、総人口が約1億2,380万人、65歳以上人口が約3,624万人で総人口に占める割合は約29.3%に達し、平均寿命は世界最高水準にある一方で、健康寿命との乖離が大きな課題となっています(厚生労働省 令和6年10月)。また単身世帯や高齢者のみの世帯構成の増加により、医療・介護を取り巻く環境が変化しています。これは歴史的にみても社会全体が大きな人口動態の変化に直面し、支え手となる世代とのバランスが崩れてきています。こうした人口構造の変化は少子化の進行とも密接に関連しており、日本社会全体で次世代を育む環境整備や持続可能な社会保障制度の構築が急務となっています。

このような社会状況の中、医療保険・介護保険制度を基盤としたリハビリテーションの役割は、単なる機能回復にとどまらず、地域包括ケアシステムの推進、予防の視点を重視し、生活の質(QOL)の向上を見据えた支援へと広がっています。理学療法士は、疾病や障がいへの対応のみならず、介護予防、フレイル対策、スポーツ分野における障がい予防やパフォーマンス支援、さらには働く世代の健康支援や妊娠・出産期のケアから発達支援、メンタルヘルスへの配慮を含めた包括的な支援を担う専門職です。人生100年時代を迎え、あらゆる世代の健康と活動を支える存在として、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現、健康寿命延伸への貢献など、社会的な要請はますます大きくなっています。

また、愛知県は南海トラフ巨大地震の想定被災地域となっています。本会では、平時から災害時支援体制の整備や人材育成に力を入れ、行政、医療・介護関係機関、多職種との連携に取り組んできました。「命を守る医療」+「生活を守る支援」と避難生活での健康支援において、専門性を活かした活動ができるよう努力してまいります。

2026年が始まりました。午(うま)年は「俊敏さ・勢い・成長・活発」な一年を意味します。秋には愛知・名古屋を中心にアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催が予定され、愛知県にとって大きな節目となります。本会では素晴らしい大会の成功を祈願するとともに、スポーツを通じた健康づくりや障がい理解の促進に加え、理学療法士が果たす役割を社会に発信する重要な機会と捉えており、競技大会を地域の健康・福祉の向上につなげる取り組みを引き続き進めてまいります。

今後とも変わらぬご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 2026アジア・アジアパラ競技大会と理学療法士の関わり



## アジア・アジアパラ競技大会に向けた理学療法士の支援体制構築

2026年9月19日～10月4日に第20回アジア競技大会、10月18日～24日に第5回アジアパラ競技大会が愛知・名古屋で開催されます。選手が最良のコンディションで競技に臨めるよう、私たち理学療法士は他職種と連携し、宿泊拠点での理学療法提供や競技会場での救急対応などを担う予定です。本大会では選手村が設置されないため、従来とは異なる支援体制が求められることとなります。

愛知県理学療法士会では大会組織委員会の依頼を受け、多くの理学療法士を推薦することとなり、2022年に支援委員会を設立しました。国際競技大会支援に必要な知識・技能を習得するための研修プログラム(入門編、特別編、基礎編、応用編、実技トレーニング、現場実習、事前研修で構成)を計画し、段階的に実施しております。

対象は愛知県を中心に、東海4県の理学療法士協会会員で、若手からベテランまで幅広く、スポーツ分野に限らず多様な領域で活躍する方々が熱心に参加されています。大会では経験や専門性を活かしたチーム編成のもと、「おもてなしの心」と質の高い理学療法の提供をめざします。

そして、これらの取り組みを通じて「愛知モデル」を築き、次世代へとつなげるレガシーを共に創出していきたいと考えています。



### 研修プログラムを実施



# 愛知県理学療法士会の スポーツ支援の取り組み

— スポーツを支える理学療法士 —

理学療法士は、体の動きや姿勢を専門的に学び、人が安全に、そして長く体を使い続けられるよう支える仕事です。スポーツの現場では、けがをした後のリハビリだけでなく、けがをしにくい体の使い方を伝えたり、無理のない練習方法を考えたりする役割も担っています。

## ■ スポーツを「続ける」ための支援

愛知県理学療法士会は学校の部活動や地域のスポーツ活動を支援しています。たとえば、走り方やジャンプの仕方、姿勢のくせなどを確認し、体に負担の少ない動きをアドバイスすることで、スポーツによるけがを防ぐことにつながります。こうした支援は、トップレベルの選手だけでなく、これからスポーツに取り組む高校生や、健康のために運動を行う一般の方にとっても大切なものです。理学療法士は、「スポーツをがんばる人」をそっと支える存在として、地域の中で活動しています。

### 01 愛知県高等学校野球連盟サポート

春季、夏季、秋季、東海大会など愛知県高等学校野球連盟が主催する試合当日のメディカルサポートを行っています。



### 02 傷害予防教室

各地域のスポーツ選手、指導者、保護者等を対象として「スポーツ傷害予防教室」を開催し、テーピングや動作指導などを行っています。



### 03 各種スポーツ大会のサポート

2021年開催に開催された「第60回中日本フェンシング選手権大会」の様子。スポーツイベントにおいて救護スタッフとして支援しています。



### 04 スポーツ理学療法研修会

スポーツを行う方々をサポートする人材育成を行っています。



# 理学療法 ってなんだろう？

理学療法とは病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、運動機能の維持・改善を目的に運動、温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いて行われる治療法です。さらに、日常生活動作を改善するための指導や、快適な社会生活のための福祉用具、住宅環境、在宅ケアの調整なども含まれます。近年は、生活習慣予防、介護予防などの予防活動にも、積極的に取り組んでいます。

## 健康増進

メタボリックシンドローム、腰痛など、現代社会が抱える身体の問題に対して生活様式から運動方法まで、詳しく説明、指導することができます。



## 介護予防

高齢者が身体と心をイキイキと保ち快適な生活が出来るよう、老年症候群の予防を通して支援することができます。



## 心身機能の向上

通所介護、通所リハビリテーションなどの通所サービスで集団・個別に心身機能の維持・向上のための運動を計画・実行できます。



## 地域リハビリテーション

様々な専門職と連携し、地域の社会資源を上手く活用し、皆さんの暮らしを創造するお手伝いをします。



## 生活支援

安心・安全の暮らしを維持するために必要な日常生活動作から住環境調整まで、生活そのものを幅広くサポートできます。



## 機能回復

病気やケガによる障がいの評価と理学療法プログラムで、起きる、座る、立つ、歩く、といった動作や機能回復のお手伝いができます。



## 社会復帰

スポーツや事故、難病などで、障がいを持つ全ての人々が、復学や復職など社会復帰のために、身体と心の両面から回復をお手伝いします。



## 自立支援

介護老人保健施設、介護老人福祉施設、身体障がい者療護施設などにおいて、いつまでも、その人らしく在るための支援をします。



## 研究活動

保健・医療・福祉などの分野で基礎から実践までの研究活動を推進し、「理学療法学」のより良い教育体制の構築を目指しています。





# 理学療法士

を知っていますか?

Physical Therapy



トピックス

理学療法士はPhysical Therapist (PT)とも呼ばれます。ケガや病気などで身体に障がいのある人や障がいの発生が予測される人に対して、基本動作能力(座る、立つ、歩くなど)の回復や維持、および障がいの悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法(温熱、電気等の物理的手段を治療目的に利用するもの)などを用いて、自立した日常生活が送れるよう支援する医学的リハビリテーションの専門職です。治療や支援の内容については、理学療法士が対象者ひとりひとりについて医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等を十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成します。

《日本理学療法士協会ホームページより抜粋》

## どうしたら理学療法士になれるの?

理学療法士は国家資格です

高等学校卒業  
(大検を含む)

養成校  
医療系大学(4年制) 専門学校(4年制)  
短期大学(3年制) 特別支援学校  
専門学校(3年制) (視覚障がい者対象)

理学療法士  
国家試験  
合格

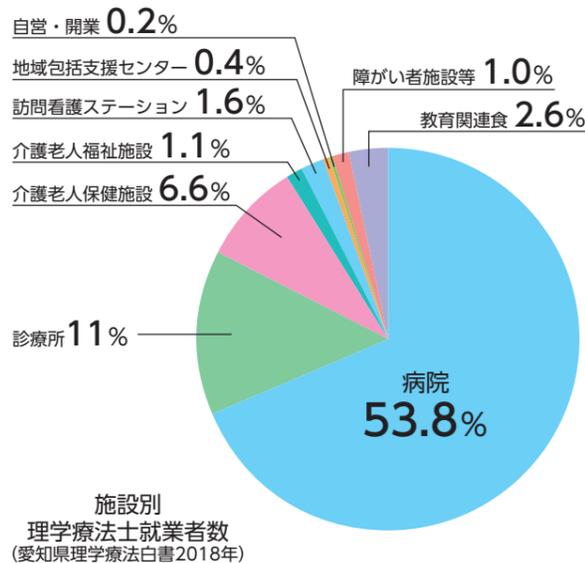
厚生労働大臣へ申請

理学療法士  
免許証取得

## 理学療法士はどのような所で働くの?

理学療法士の就職先は、大学病院・一般病院・老人病院・小児病院などの医療施設、老人保健施設や訪問PTなどの医療福祉中間施設、肢体不自由児施設や身体障がい者福祉センターなどの福祉施設、養護学校や養成校などの教育・研究施設、行政関係、スポーツ・フィットネスなどの保健関係などです。多種多様なニーズに応じて職域も拡大しています。

介護保険サービス	通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション、 住宅改修・福祉用具のアドバイス
医療サービス	病院・診療所
保健サービス	機能訓練事業、保健センター 介護予防、療育相談
行政サービス	市町村、養護学校など
福祉サービス	障がい者福祉センター 障がい児(者)通所・入園施設
トータルヘルスプラン事業	健康管理、スポーツ



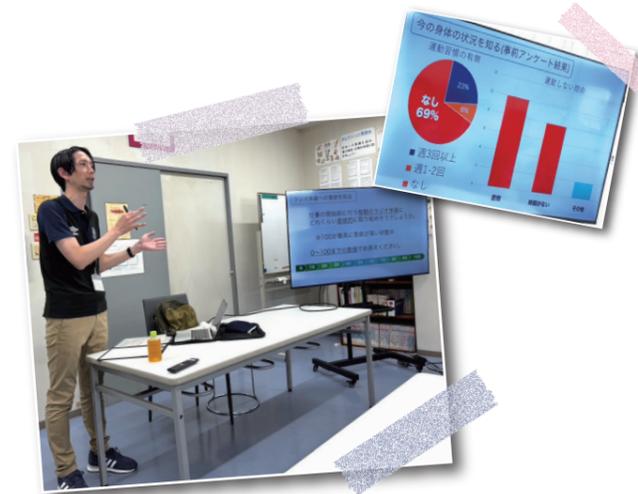
# interview



公益財団法人 豊田地域医療センター  
リハビリテーションセンター 木村 圭佑

## 普段の仕事の様子

入院患者様のリハビリを担当しています。自宅や地域での生活に戻るため、院内スタッフだけでなく在宅ケアの関係者とも連携しています。また、院内スタッフの健康と安全を守る委員会に所属し、職業性腰痛の予防指導や作業環境改善にも取り組んでいます。

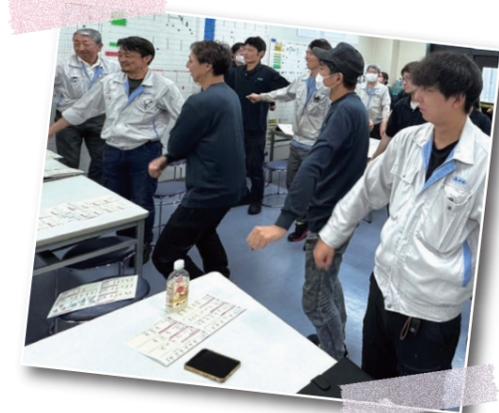


## 理学療法士として大切にしていること

「関わった方とその家族が、人生を振り返ったときに理学療法士と出会えて幸せだったと思えること」を大切にしています。

## 地域での取り組み

私は「働ける体づくり」を支援する活動に注力しており、豊田市が行っている中小企業で働く労働者の健康維持・増進事業に参加しています。豊田市内の製造業で働く方に多い肩・腰・手の痛みを防ぐため、体の使い方や作業環境の改善に理学療法士として関わっています。



## 印象に残るエピソード

ドキュメンタリー映画「みらいのうた」に登場する脳卒中を患ったミュージシャンの姿に心を動かされました。「患者」ではなく「生活者・労働者」として生きる意味を取り戻す過程が描かれ、理学療法士として多くの示唆を受けました。主題歌の「人生の7割は予告編で…」という歌詞は、私が大切にしている価値観とも重なります。

## 学生・一般の方へ

理学療法士は「病気や怪我の後に関わる職種」という印象が強いかもしれませんが、現在は予防の場面でも活躍の場が広がっています。人生のストレスに直面した際、その後をより良く生きるための手段として、理学療法士の専門性が大いに役立つのではないかと考えています。